

【一太郎 2019 編】

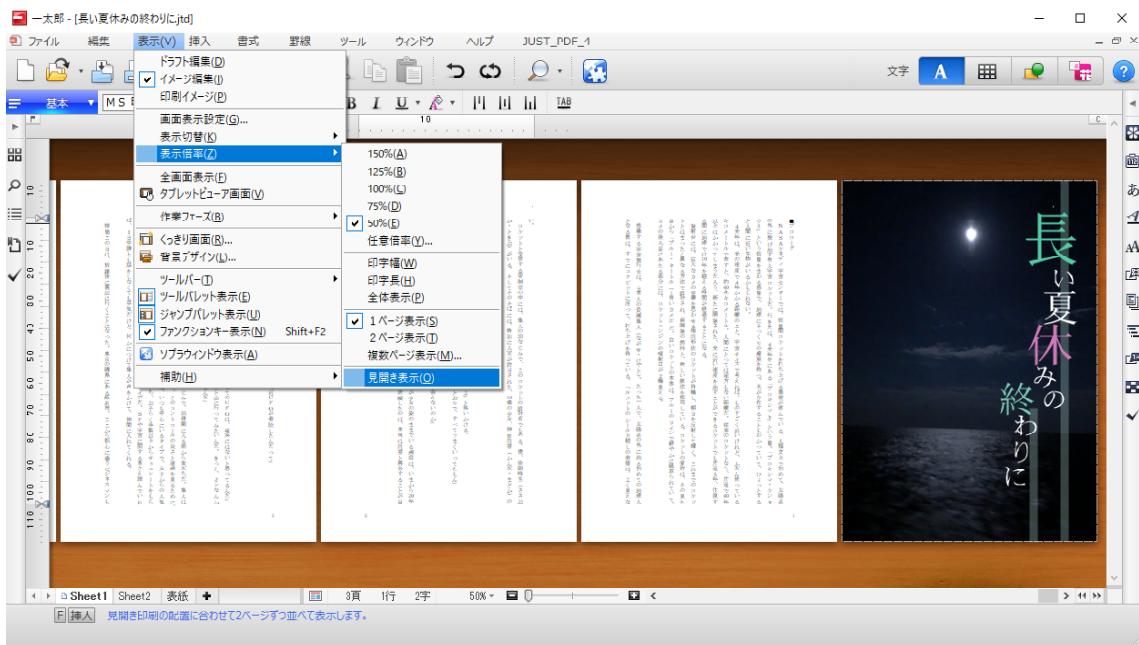
冊子の完成イメージを確認しながら編集するマル秘テク

冊子形式の文書を印刷したときには、最初と最後のページを除く見開き単位で読むことになります。

そのため、ページ順に [2 ページ表示] を行うと、実際のできあがりとはずれて表示されることになってしまいます。

一太郎 2019 で新たに搭載された [見開き表示] 機能は、最初のページを片側で表示した後、2 ページ目以降を左右に開いた形で表示します。冊子になったときに、見出しや画像などが、見開きではどんな風にレイアウトされるかを確認しながら編集できるので、便利です。

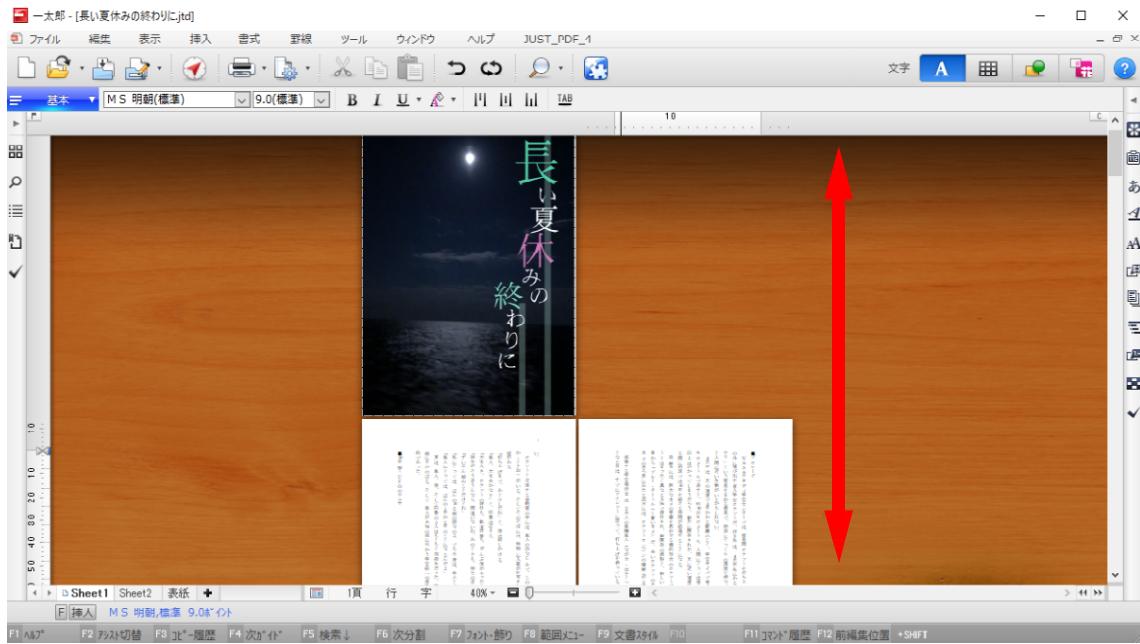
1. [表示－表示倍率－見開き表示] を選択します。



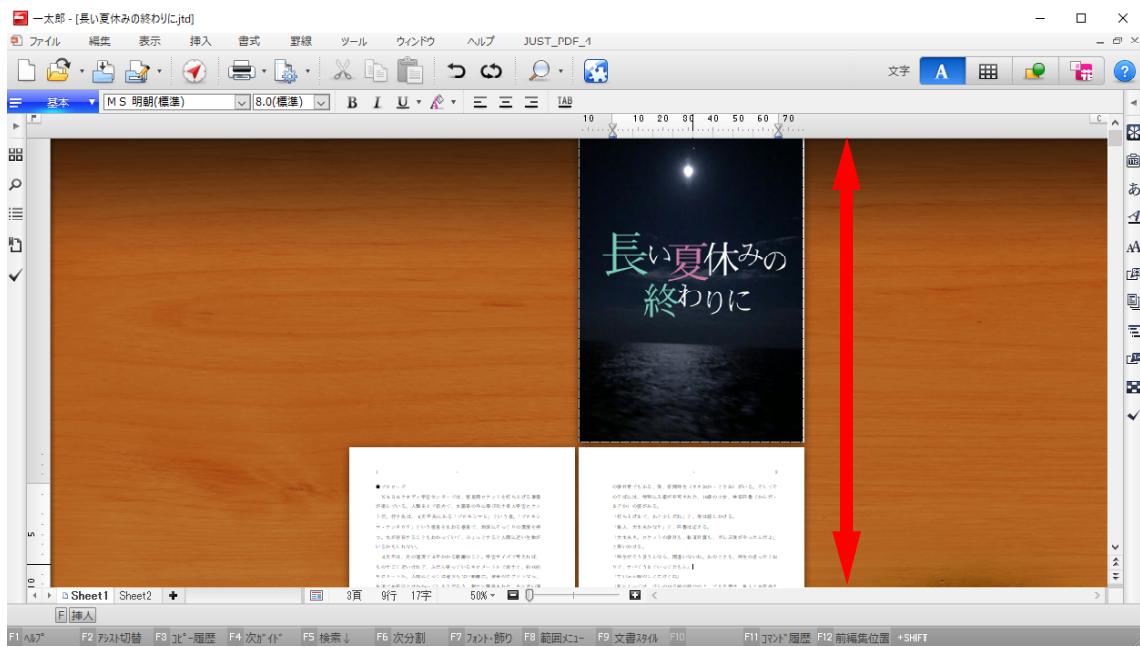
↓

2. 見開きで表示されました。縦書き（右とじ）の場合は、最初のページが左側から表示され、縦方向にスクロールされます。横書き（左とじ）の場合は、最初が右側となります。

●縦書きの場合

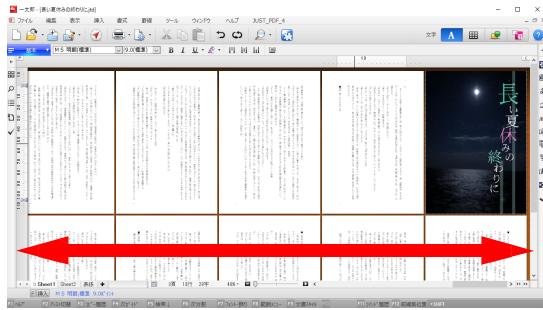


●横書きの場合



※ [表示-表示倍率-2ページ表示] を選択すると、最初のページを含む2ページずつが、縦書きの場合は上下に並べて表示され、横スクロールされます。横書きの場合は左右に並べて表示され、縦スクロールされます。

●縦書きの場合



●横書きの場合

